

むらの 話 題



地域の話題をお待ちしています
 ©総務課・広報係
 ☎029-885-0340内線205

平成29年度美浦村防災訓練を 実施しました！



7月23日、木原小学校において平成29年度美浦村防災訓練が行われました。木原小学校区を重点対象地区として実施した今回の訓練には198名の方が参加をされ住民の方々の防災意識の高さを感じることができました。

今回の訓練では、応急処置訓練や展示、段ボール製簡易ベッドの組立を行う避難所設営体験、国土交通省所有の降雨体験車による豪雨体験、自然災害体験車による土石流体験等が行われました。体験訓練を終えた後は、いなほ消防署による人命救助活動の実演が披露されました。

かけがえのない生命・財産を災害から守る防災対策は、おろそかにできない重要な施策です。来年度も継続して実施する予定です。その際はぜひご参加ください。

美浦村建設業協会が 草刈りボランティア実施



8月4日、美浦村建設業協会(栗山秀樹会長)では、村役場庁舎脇の国道125号バイパス陸橋付近の草刈を行いました。

当日は未明に降った雨により足場が悪い中で、同協会に所属している事業者から17社総勢41名の方が参加され、バイパス進入路脇の急斜面や陸橋付近の擁護壁の生垣等、除草作業が難しい場所の雑草をきれいに刈り取っていただきました。大変お疲れ様でした。



鹿島アントラーズFC 「美浦の日」開催！

8月5日、県立カシマサッカースタジアムにおいて鹿島アントラーズFCフレンドリータウンデイズ「美浦の日」が開催されました。当日は、美浦村在住・在勤・在学の方は、この日行われるベガルタ仙台戦を招待または優待価格で観戦することができ、たくさんの方が来場しました。

試合開始前のイベントには、みほーすやJRAのイメージキャラクターであるターフィーが登場し会場を盛り上げ、それに応えるように試合でも鹿島アントラーズが2対0で勝利をおさめました。

フリーダムSC 県大会で好成績



7月23日、フリーダムサッカークラブが鉾田市総合運動公園にて第44回茨城県少年別少年サッカー大会の決勝トーナメント(低学年の部)に出場しました。

1次リーグ、2次リーグの接戦を制して決勝トーナメントに進んだフリーダムサッカークラブは、鹿島アントラーズつくばジュニアには惜敗したものの、ホーリーホックジュニアとの試合では引き分けに持ち込む等、強豪相手に一歩も引けを取らず、県ベスト8という好成績をおさめました。

◇フリーダムSCはサッカー好きの仲間を歓迎します。※年中、小学4年生まで(代表・中根)

☎09001407417799

地域を花いっぱい！ ～花いっぱい運動コンクール～



老人クラブや地区等、18団体の参加を得て実施された「第18回美浦村花いっぱい運動コンクール」の表彰式が7月21日に行われました。

各団体が手塩にかけて育てた花壇はどれも素晴らしい出来栄でしたが、厳正な審査の結果、以下のとおり各賞が決定しました。

なお、村長賞、議長賞受賞団体は、大好きいばらき県民会議等主催の「第45回花と緑の環境美化コンクール」へ推薦されました。

【コンクール結果】(順不同)

- 村長賞 山王福寿会
- 議長賞 馬見山花の会
- 教育長賞 フラワーガーデン大山
- 区長会長賞 土浦老人クラブ
- 厚生文教委員長賞 上舟子アモーレクラブ
- 総務部長賞 大須賀津神明クラブ
- 努力賞 牛込根本太陽クラブ、茂呂地区、信太みどりの会、下舟子老人クラブ、美浦村花見塚福寿会

美浦村子ども議会を開催



7月24日、第2回美浦村子ども議会が開催され、美浦中学校の2・3年生20名が子ども議員や議会事務局長となり一般質問を行いました。

本物の議場で村議会の特色であるタブレット端末を利用し、堂々とした態度で議会に臨んだ生徒たちは、みんな口をそろえ「今後のためのいい経験になりました」と語ってくれました。

須崎氏 日本水彩展 で入選



公益財団法人日本水彩画会が東京都美術館で開催する日本水彩展において、美浦朱青会に所属する須崎敏之さんの作品が入選しました。

須崎さんが用いるのは透明水彩絵具を使って描く透明水彩画というもので、作品名は「戦後70年正午」。戦後に帰って来れなかった人や黙とうの時の一瞬の静けさを、鎮魂の思いで描いた作品だそうです。この度は入選おめでとうございます。

みほ文芸

正調俚謡 日和吟社 題「真・愛」一字以上詠み込み有季無季随意

歓喜あふれる真夏の夢にかける球児の地区予選
 はずむあなた笑顔が浮かぶ愛が伝わる電話口
 母の手料理昔のまま愛が薬味の五つ星
 豪雨災害寄り添いながら尽くす真心ボランティア
 愛の溢れた記憶を胸に辛さ切り切る介護妻
 一人暮らしに終止符打って愛のデュエットこだまする
 うまい味噌汁四十余年妻の味知る愛を知る
 祈り続けた七十二年愛と平和の鐘が鳴る
 何が真実か嘘との違い区別できない世の乱れ
 共に古希越え老い行く道も互い支える夫婦愛
 愛は不滅と信じた頃を思い出しては見る鏡
 強い白鵬前人未踏国技盛り上げ相撲愛
 子供元気で真っ直ぐ育つ忘れまいぞよ父母の愛
 甘え我が儘大きな愛で包み支えてくれた母
 泣くも笑うもすべてが可愛い愛をたっぷり受け育つ
 親を困らせ育つた孫娘も吾子が愛しと母乳をやる
 白のコットン夏服決まり真夏日傘の涼し影
 八月の俳句(題 当季雑詠)
 上鰻重たまの奢りや小さき旅
 来なされや美浦の空には柿花火
 風も無く暑さ増す増す蝉時雨
 病妻を労る夫の玉の汗
 学童の声の列なす夏帽子
 冷酒酌む旅の一夜の国訛
 門火焚く早馬で来し父と母
 遠き日よ法被の君の祭笛
 忘却を消せぬ亡娘に盆火たく
 迷いつつえらぶ盆棚好きな花
 手の平に包み弾けし鳳仙花
 八月や名画に潤む「ホテルの臺」
 高橋一步
 長谷川悦子
 塚本夏雲
 上野八千代
 田島草実
 門脇悠美
 飯塚筑風
 石戸葎華
 小蘭江久美
 伊藤葉子
 山口壹路
 沼寄朋香
 武田かずお
 小池きよし
 木村幸子
 山崎笑子
 関根秀子
 (五十音順)
 青野安佐子
 石毛恵美子
 海道民子
 木澤はしめ
 高柳幸子
 田島早苗
 中島輝子
 長田敏笑
 松葉よしの
 松本秀子
 宮崎きみ枝
 矢原はつひ